



野口としの助産師さんによる40分のお話は、遠い過去に記憶を戻し、気が付かなかった自分自身の力と、支え続けてくれた人があることを教えてくれました。これからの生き方につながる、あたたかく深い内容でした。山岸助産師 小西助産師 筒井助産師 による体験コーナーでは、赤ちゃん人形の抱っこ体験・妊婦ジャケットをつけての妊婦体験・自分の心臓の音を聴く体験や生まれる直前の赤ちゃんの心臓の音もCDで聴きました。

## 3月11日 助産師さんによる「いのちの授業」を終えて

### ～感想と助産師さんへのメッセージ～

ひとつひとつの言葉が心にしみわたりました。また今まで学校で学んだことをいかして聞くことができました。話を聞いて「生きる」ということについて考えさせられました。生まれてきてここにいることはすごいこと・たった一人で生きてきたというのは、ひとりもいないなどの話をしてくださり、生きることに責任を持ちました。ほかにも赤ちゃんの生まれ方や体の成長の話をしてくださり、大事に育てられたからこそ大きくなれたと実感することができました。家に帰り、私は自分だったころの写真をみせてもらいました。自分が赤ちゃんだったころは、体が本当に小さく、よくここまで大きくなれたと思いました。また、ここで改めて大事に育てられたんだと確かめられました。

助産師さんのお話を聞いて、少し以前聞かされていた母の話を思い出しました。私の大きないとは男ばかりで、私は待望の女の子だったそうです。聞いたときは「だから何？」でしたが、それは幸せなことだったのだと感じました。パワーポイントで見た出産した時のお母さんたちのコメントを見て、私の母も周囲も当時そう思っていたのかと思うと、少し嬉しくなりました。この頃は過去を振り返ったりはしますが生まれてから考えることはありませんでした。いのちの授業の2時間で、母親の苦勞を知り感謝すべきなのだと思います。自分の誕生日は祝ってもらえばかりですが、自分の誕生日こそ「母に感謝」しなければならないのだと感じます。そして今後は、母・父・祖父母にそのことを感謝して生活していこうと考えています。まずは日々の家事の手伝いです。「いのちの授業」を受けたことで、新たなことを多く考えさせられました。本当にありがとうございました。

貴重な時間をありがとうございました。助産師さんの話を聞いて初めて知ったことがたくさんありました。1つ目は、赤ちゃんは自分の意志でおなかの中から出たいと思うこと 2つ目は、赤ちゃんの第1関門は産声から 3つ目は、お母さんお父さんがものすごく少ない確率で出会い、自分が生まれるということとはとてもすごいこと。違う人と出会っていたら今の自分はいないということです。お話を聞いて今まで以上に両親に感謝をしようと思いました。ありがとうございました。それと、5人目のご出産おめでとうございます。そして来週3月19日に僕たちが卒業することを聞いてサプライズで映像の一部に僕たちのことを書いていただきありがとうございました。卒業しても頑張りたいと思います。助産師さんもうつらいことや悲しいこと色々あると思います。けれどくじけずに頑張ってください。これからもたくさんの赤ちゃんを元気づけようと思ってあげようお願いします。本当にありがとうございました。

お話の中で、私が一番印象に残ったのは「今、生きているということは赤ちゃんの時、大切にされたから」という言葉です。この言葉を通して「自分は大切にされていたんだ」という意味がわかりました。本当に色々な事を学ぶ事ができました。ありがとうございました。

僕は赤ちゃんについてあまり知らなかったのですが、この機会に詳しく知ることができて良かったです。赤ちゃんができて間もないころは、あんなに小さいのだということに驚きました。いのちが生まれるのは本当に奇跡なんだと思いました。僕は将来子どもがほしいと思いました。いのちの授業でやったことを参考に、妊婦さんがいたら思いやりをもって接していきたいと思いました。助産師さんの方々は、これからも妊婦さんを助けてほしいです。短い時間でしたが、ありがとうございました。



助産師さんが最初に配ってくれたハートの用紙を見て、命の一番最初の大きさを知って、この大きさが今の自分の大きさまで大きくなったのかと、とても僕はビックリしました。僕は生まれたときは2300gだったと母が言っていました。そんな自分が中学を卒業できるまでに成長することができたのは、たくさんの人たちに大事に育ててもらったからだだと思います。今回の「いのちの授業」で自分の生まれた確率がとても低いものだと知って、人が生まれるということは奇跡なんだと思いました。なのでこれから自分の周りに赤ちゃんがいたら大事にしてあげたいと思います。卒業前に大切な話をしてくださりありがとうございました。

もともと私たちの始まりは、0.13mmというとても小さなもので、今ここで生きているということは奇跡だということを改めて感じました。妊婦体験を通して母親がこんな困難をのりこえてきたのを知り、親に感謝してこれからも生きていきたい。妊婦さんの困難を知ったので、電車などにいたら席をゆずって少しでも楽にさせてあげたいと思った。





赤ちゃん人形を抱くのは、とても難しく頭を腕でとどめるのはすごく難しかったです。そして首元を持ち、体を持ち上げたとき体に力が入っていないので、足や腕までの配慮が自分の中で行き届かなかったです。

私は何回か赤ちゃんを抱っこしたことがあります。でも赤ちゃん人形で体験したことで、頭が重いことに気づいたり、首がすわっていない時にやっではいけないことを知ったり、改めて命の重さを感じることができました。小さい赤ちゃんでも一生懸命生きていることが心音聴取体験からもわかりました。母親のおなかにいる時から小さいけれどきちんと心臓が動いているんだなと思いました。また、年や場合によって心臓の動きが変化することも知りました。妊婦体験では赤ちゃんの育つ過程を知りました。私も体験してみても命が入っているのだから重いのだろうなと想像しました。また、生活の中で普段当たり前に行っていることも大変だなと思いました。

軽いと思っていた赤ちゃんが実際は重くて驚きました。また首がすわっていないし、やわらかくて抱くときは本当にこわかったです。妊婦体験はとても良い体験になったと思っています。将来自分が経験することかもしれないので勉強になりました。心音はとても驚きました。小さな体で生まれる直前は一分間に120回近くうつななてすごいなと思いました。



赤ちゃん人形を抱っこしてみても最初に思ったことは、「重い」ということです。また首がすわっていないので抱っこするときに注意をはらわないといけないことが大変だった。妊婦体験は予想以上に動きづらく、24時間毎日だと改めて大変だと思った。

最後の助産師さんの話を聞いて、お母さんたちは大変な思いをして私たちを産んでくれたんだなと感じました。いつもはお母さんに反抗して、受験期の時はついカッとなって「まじで生まれてきたくなかった」って言った時がありました。その時お母さんは怒りもせず何も言わなかったけど、すごい傷ついたと思います。その時はそんなこと言っても何とも思わなかったけど、助産師さんの話を聞いてその時のこと思い出しました。泣きそうなくらいごめんなさいって気持ちでした。その夜「産んでくれてありがとう」ってお母さんに言ったら、ちょっとビックリしてたけど、笑顔で「生まれてきてくれてありがとう」って言ってくれました。その時すごい嬉しかったです。一人で大きくなったみたいなお母さんにとって親の気持ちも考えないで反抗ばかりするけど、ここまで大きくなって育ったのも、今私がここにいるのも、支えてくれた人はもちろん、何よりも親が大切に育ててくれたからだと思います。「いのちの授業」で思い知らされたことがたくさんあります。これから「反抗はしない!!」と断言はできませんが、、、笑。お母さん、お父さんの気持ちを考えて生きていきたいと思っています。こういう気持ちになれたのも助産師さんのおかげです。本当にありがとうございました。



僕は男なので将来妊娠することは絶対ありません。なので、もし僕が結婚した時に妊婦になった妻がいたら、できる限りのことはサポートしてあげようと思っていました。こんなめったに体験できないことをさせていただきありがとうございました。

妊婦体験は7kgもあってすごい重かったけど、お母さんたちは7kgのおなかを抱えて私たちの命を守っておなかをいためて産んでくれたということが身にしみました。

妊婦さんはとても重くて大変なんだなと思いました。これからは、妊婦さんの大変さを知ったので、見かけたら助けてあげようと思いました。また生まれてくる確率、生きている確率ということにも驚きを感じた。僕が生まれてくれたこと、生きていることに感謝して生きていきたいです。



この体験で家族が僕にしてくれたことが大変だったということを理解することができ、家族に感謝することができました。





今夜は早めに寝ましょう。明日は朝食食べようね。気温高め  
だったら服の調節してね！ 体調管理最後までしましょう。

いのちの授業の感想その2を綴ります。みなさんがこの3年間で成長したことを読み取ることが  
できる感想文を載せることで、お祝いの言葉といたします。卒業おめでとう・そしてありがとう。

～保護者の皆様～ お子様のご卒業本当におめでとうございます。

3年間本校学校保健活動へご協力いただきましたこと 本當にありがとうございました。

小山田中学校 養護教諭 三瓶法子

私は助産師さんの話で印象に残っている言葉があります。1つは「命がけ」です。赤ちゃんを産むためにお母さんも命がけ・また、自分で生まれてくることを決断して、生れる子どもも命がけなんだと改めて感じることができました。2つ目は「奇跡」です。命がけで生まれてくることができ、今、ここに生きていることができる。これがすべて奇跡なんだということ。このこと全部がすごいんだということ。この2つのことを学び、私はその意識を持ってこれからを大事に生きたいと思いました。また、命について考えた貴重な体験となりました。

僕たちの最初はあんなに小さくてびっくりしました。子どもを産むときに骨盤が開くと聞いてとても痛そうに思いました。こういった痛みに僕だったらきつと気絶してしまいます。でも女性の方はその痛みに耐えてひとつの命を産むのだから、本当の女性の強さがわかった気がしました。僕も子どもができたら、積極的に育児に取り組み、お父さんの「子どもの育て方を学べる教室」にも行きたいなと思いました。本當にいい体験をさせていただきありがとうございました。

これから大人へと変わってゆく私たちが、どうやって生まれたか、またそれはいくつもの奇跡が重なって起きたことであることを知り、とても感動しました。あたりまえのように育ててもらった両親や周り大人の方に感謝の思いもわかりました。子育ての大変さ、出産するまでの苦労など、これから経験するであろう自分にとって、とてもためになりました。命の尊さも身にしみるほど実感しました。また、最後の映像では、卒業前だからこそクラスの写真が出てきたときは、嬉しかったです感動しました。そして最後に個人的に質問に行ったときにわかりやすく優しくお話ししてくださりありがとうございました。とても不安に思っていたことですし、その不安も少し消えて痛みと向き合えるようになりました。本當にありがとうございました。

僕は話を聞くことが苦手でしたが、今回の話を聞いて「得意」になりました。助産師さんの一生懸命な姿を見て、自分たちももつと努力をしなければならんだと、心からそう思いました。「お母さんも子どもも命がけ」という言葉にはとても感動しました。どうか、このまま、日本中の妊婦さんを支えてあげてください。

自分が今まで生きてきたことは、決して簡単で当たり前のことではなかったのだと知ることができました。死にたくなくても死んでしまう人たちが多くいる中で、十分に生きていける未来がある人が自ら死んでしまっていることがあります。私は、たくさん愛をもらって育ってきたのだから、これからも懸命に生きていきたいと思いました。また、自分が育てることができないのに、子どもをつくるのが、とても無責任だと改めて感じました。2時間ありがとうございました。

町田に助産院がないから開くのはとてもすごいと思った。僕たちのためにわざわざ資料をつくってください、ありがとうございました。最後の映像は、とてもビックリしました。5人日のお子さん 出産おめでとうございます。子どもを育てながら助産師をするのは大変だと思いますが頑張ってください。

とても将来に役に立ついろいろなことを教えていただき、ありがとうございました。僕もこの命を大切に、産んでくれた両親と共に生きていこうと思いました。

私は、ずっとずっと前からたくさんの人たちがいたから、今ここにいるんだと知り、すごいな と思いました。自分自身が生まれてくることを望み、そして大人たちが産み育てていくことを決めなければ、私はいない。奇せきだ！ とお話を聞いて思いました。今度は私たちが決めていかねばならないし、その命を守っていかねばならない。すごく重大なことだと身にしました。

命の大切さ・生きることの大切さ・よろこびを学ぶことができました。昨日は3月11日だったので、地震による死者、行方不明者は20000人いると聞き、震災のことをもっと考えていこうと思いました。ありがとうございました。これからも助産師頑張ってください。

今まで新たな命ができるのはあたりまえとと思っていました。ですが、助産師さんのお話を聞いて、自分の命・友達の命・今の友達に会えたこと・家族に会えたことが、どれだけの奇跡かを学びました。また、指1本でもつぶせるほどの大きさだった自分をつぶさずにここまで育ててくれた親に、心から感謝したいと思いました。これからの人生でとても大切なことを学ぶことができました。ありがとうございました。

私は助産師さんの「いのちの責任」という話がとても心に残った。大人になったら、子どもがいてあたたかい家庭をきずきたいと思っている。けれど赤ちゃん、子どもを授かるということは、かたい決意がなければ簡単に授かってはいけないと思った。私は小さいころから赤ちゃん・子どもが大好きで、早く大人になって赤ちゃんほしいなど思っていた。けれど、客観的にみて、赤ちゃんかわいいと思うのと、実際に母となり育てることでは全く違うんだと思った。助産師の話聞いて「いのち」の大切さがとても身にしみました。ありがとうございました。

まずこの度、貴重でとてもためになるお話をさせていただき、誠にありがとうございました。赤ちゃん人形を抱っこする体験・妊婦体験・心音聴取体験と3つの体験をしてからお話をお聞きしたので、とても興味をもって聞きました。また、この「いのちの授業」をするにあたって、多くの人や時間を費やしてくださったことに改めて感謝します。